

令和5年度 第3回 北部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和6年2月7日(水)14時00分から15時30分
2. 開催場所 北部中学校 会議室
3. 出席委員 平間 一彦 遠藤 喜和 小林 宏彰
谷口幸子 高木早由里 佐野孝輔
4. 欠席委員 なし
5. 学校支援コーディネーター 渡邊 薫
6. 学校 佐野 政光(校長) 村松 還(教頭) 橋爪 敦志(教務主任)
平松 光宏(生徒指導主事) 鈴木 千佳(CS ディレクター)
7. 教育委員会 鈴木 陽子(教育総務課)
8. 傍聴者 なし
9. 会議録作成者 鈴木 千佳(CS ディレクター)
10. 議長の選出 委員より平間委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なく承認した。
11. 協議事項
 - (1)学校関係者評価について(来年度の方針について)
 - ・学校の自己評価の説明(「いじめ防止等のための基本方針について」含む、別紙)
 - ・次年度学校運営の基本方針について(校長より)
 - ・来年度の方策について(熟議)
 - (2)学校運営協議会の自己評価
 - (3)夢育やらまいか CS 加算分の報告
12. 会議記録
 - ・司会の教頭より、委員総数6人全員の出席があり開催要件が満たされ、会が成立する旨の報告があった。
 - ・初めに会長より挨拶があり、続いて校長より挨拶があった。

(1) 学校関係者評価について

・学校自己評価の説明

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき今年度の学校評価アンケートの結果・分析結果・改善方策等について説明があった。また生徒指導主事から「いじめ防止等のための基本的な方針について」の説明があり、委員からは以下の発言があった。

・いじめの内容は時代によって違うと感ずるか(平間委員)

→現在は SNS に関するものがほとんどで、誹謗中傷が多い。ちょっかいの出し合いにより、受け手側がいじめと認識することもある。(生徒指導主事)

- ・受け手側がどこを基準にいじめととらえるか難しいところ。被害生徒のケアも加害生徒のケアも大事。(佐野委員)
- ・(今の時代の子供たちは)いじめに対する個々の耐性、精神力が弱いのでは、と感じることもある。冗談が冗談ととらえられないということもあり、難しいところ。(平間委員)

・次年度学校運営の基本方針について ・来年度の方策について

議長の指示により、別紙資料に基づき校長から次年度の学校運営基本方針についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・相手によりよく理解してもらおうという意味でも、先生方が生徒たちに向けてキャリアと結びつけた語り方をすることは大切だと思う。(小林委員)
- ・子供たちの人間関係に関することで、先生方がこちらの話を熱心に聞き、すぐに対応してくれた、という経験がある。今後もいじめ問題・解決を最優先事項として重視する、という学校側の方針は親として安心できる。また部活に関して、結果だけを重視するのではなく、生徒の意欲的な姿勢を肯定する、という方針もとても良いと思う。(高木委員)
- ・いじめが起きたとしても、小さな芽のうちに子供たちの中で解決できることが理想。子供たち同士が人間関係を大切にし、お互いの壁を低くし、小さい接点をたくさんもつ集団にすることがよいと思う。普段の授業の中で、人間関係をうまく築けるように機能させることが大切だと思うが、北部中はそれがうまくできているように感じる。(遠藤委員)
- ・部活動に所属していない生徒とは学校としてどのようにかわりをもっているか。(谷口委員)
 - できるだけ多くの生徒が部活動に参加してほしいと思うが、任意であるため、学校としては普段の教育活動でかわりをもつようにしている。部活動に所属していない多くの生徒は外部クラブチーム、習い事をしているが、そこでのトラブルや学校ではかわりきれない部分に関しては憂慮している。(校長)
- ・いじめが起きたときの素早い対応がシステム化されているのが良いと思う。悪いことが起こったときに初動が早いのは良いこと。引き続き継続してほしい。(佐野委員)
- ・学校の中で先生方の動きを見ていると初動が早く、こまやかだと感じる。部活動に関しては子供たちにも多様性があり、部活動以外で活躍している生徒もいる。クラスに馴染めない生徒も一生懸命に活動をしていて、その子なりの学ぶ場所をもって勉強をしているように感じる。精神的孤立をしないよう、それぞれが小さい接点をもつことや意見を言い合う環境をもつことが大切だと思う。(CS コーディネーター)

(2)学校運営協議会自己評価

各委員より提出された自己評価表の意見をまとめる形で北部中学校運営協議会の総意とした。
(令和5年度 学校運営協議会自己評価表 参照)

(3)夢育やらまいか CS 加算分の報告

教頭から夢育やらまいか CS 加算分について、緑翔祭講師謝礼、2年未来授業講師謝礼として運用した旨の報告があった。

・報告

CS コーディネーターより以下の報告があった

- ・来年度 3 年生入試向け面接練習の面接官依頼について

・その他の連絡事項

今後の学校行事予定について